

2017年3月期  
(2016年4月～2017年3月)

# 決算説明資料



感光材研究所（千葉県印西市）

 東洋合成工業株式会社

2017年5月19日（金）

# 2017年3月期 決算概要

---

## 為替相場の変動の大きかった2017年3月期

2016年2月以降、原油価格の下落、米国景気減速懸念、英国のEU離脱等の世界情勢不安から円高が進み、2017.3期3Qまで大きく影響を受けた  
2016年11月以降、米国トランプ大統領の誕生により円安へ反転

円/米ドル



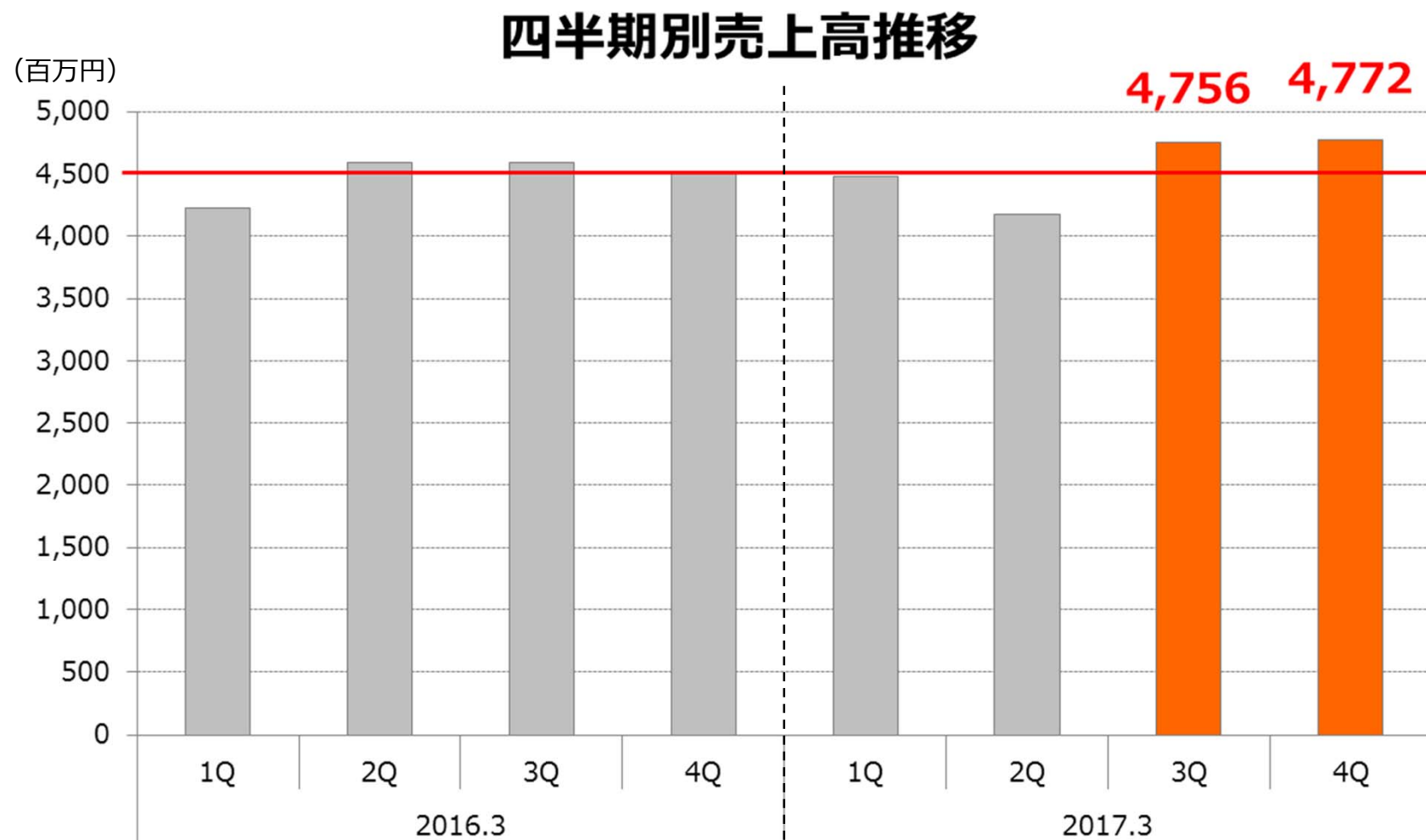
## 2017年3月期 業績ハイライト

売上高は、販売量が増加（対前期比+5.3%）したものの、当期3Qまでの円高の影響を受け、対前期比で微増  
 利益面では、円高による売上減少、及び機能強化費用等の発生により、減益

(百万円)	2016.3 実績	2017.3 修正予想	2017.3 実績	前年同期比		修正予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	17,919	17,500	<b>18,183</b>	+264	+1.5%	+683	+3.9%
営業利益	966	350	<b>527</b>	△439	△45.4%	+177	+50.6%
経常利益	688	200	<b>412</b>	△276	△40.1%	+212	+106%
当期純利益	468	20	<b>233</b>	△235	△50.2%	+213	+1065 %
為替レート (売上平均レート)	120円/\$	108円/\$	<b>108円/\$</b>	△12円/\$	△10.0%	—	—

# 四半期別売上推移

第4四半期の売上高は4,772百万円となり、第3四半期に続き、過去最高を更新



## 決算のポイント

**生産量・販売量は堅調に増加したが、急激な円高と一過性費用の計上により増収減益となった**

**売上高：18,183百万円（前期比 +264百万円、+1.5%）**

- 販売量は増加したものの、急激な円高により減収効果があり、対前期比微増。
- 販売量の対前期比：感光材+7.5%、化成品+6.5%、ロジスティック（荷動量）+5.3%
- 前年同レート換算した場合 18,847百万円（前期比+664百万円、+5.2%）

**営業利益：527百万円（前期比△439百万円、△45.4%）**

- 販売量・生産量の増加による製造原価低減では、+717百万円の利益改善
- しかし円高による減収効果、及び一過性費用（以下）により、全体としては減益。
  - ・前期末在庫調整費用の計上（264百万円）
  - ・機能強化：マーケティング・生産技術・人材マネジメント（189百万円）

**経常利益：412百万円（前期比△276百万円、△40.1%）**

- 営業外収入：淡路工場補助金等により224百万円（前期比+131百万円）
- 営業外費用：為替差損129百万円等により339百万円（前期比△31百万円）

**当期純利益：233百万円（前期比△235百万円、△50.2%）**

- 特別損失：役員退職慰労引当金等の計上（255百万円）

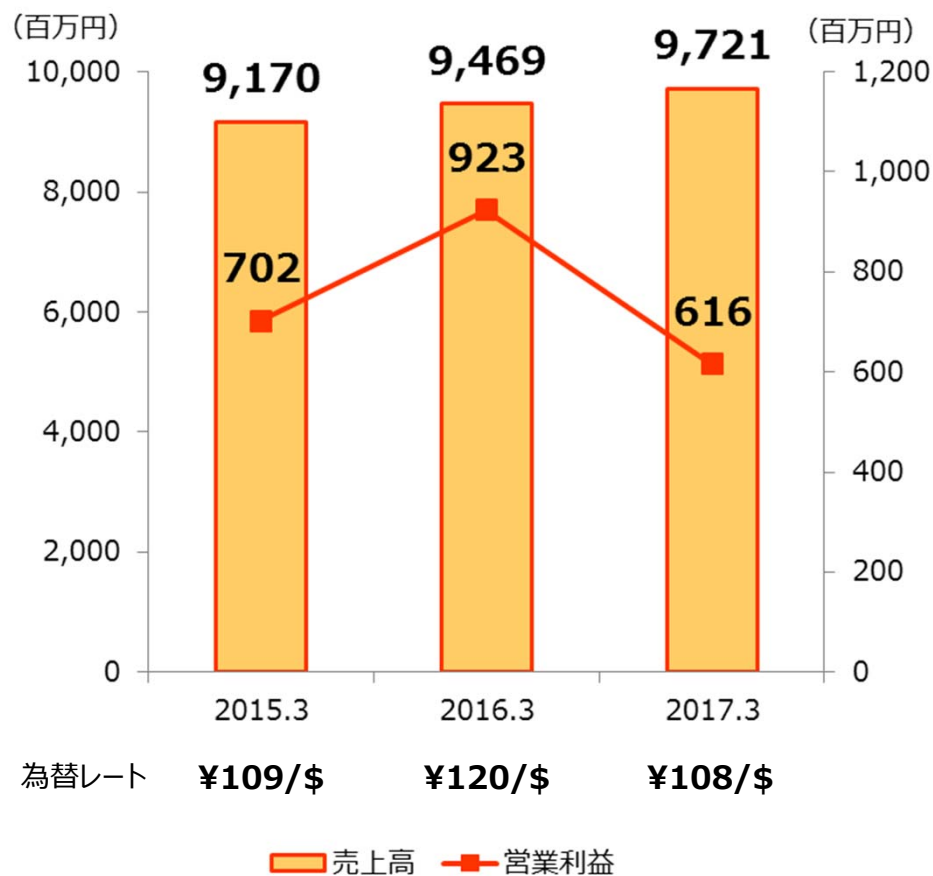
# 感光性材料セグメント

## 半導体・FPD需要が好調に推移し、販売量は順調に増加



新設ラインを導入した千葉工場の建屋

### 売上高・営業利益



### ■ 分野別概況

半導体関連、FPD関連共に好調に推移。  
生産量・販売量が増加。

### ■ 業績概要

売上高：9,721百万円（前期比+252百万円）  
営業利益：616百万円（前期比△307百万円）  
販売量が増加（前期比+7.5%）し、増収。  
第3四半期までの海外売上の為替影響により  
利益面では減益。

### ■ マーケット

**半導体**：既存感光材分野は、多層構造の半導体（三次元メモリ・DRAM・ロジック）の増加、IoT・記憶媒体・車・AI・クラウド化・4-5G通信拡大。感光材需要は、高成長がさらに加速する見通し。  
**ディスプレイ**：FPD関連需要は増加の一途。スマホ、高解像度TV、タッチパネル、車載FPDなども増加の一途。有機ELパネル関連は急増。

# 化成品セグメント

香料材料、溶剤、ロジスティックの全分野で販売量増加も、  
海外販売が為替影響を受け、売上は前期同水準、利益面は減益



香料材料製品は香水・食品・  
トイレットリー製品に広く使用されている

## ■ 業績概要

全分野で販売量増加  
 (香料・溶剤 +6.5%、ロジスティック +5.3%)  
 売上高は8,462百万円 (前期比+12百万円)  
 営業利益は△89百万円 (前期比△131百万円)

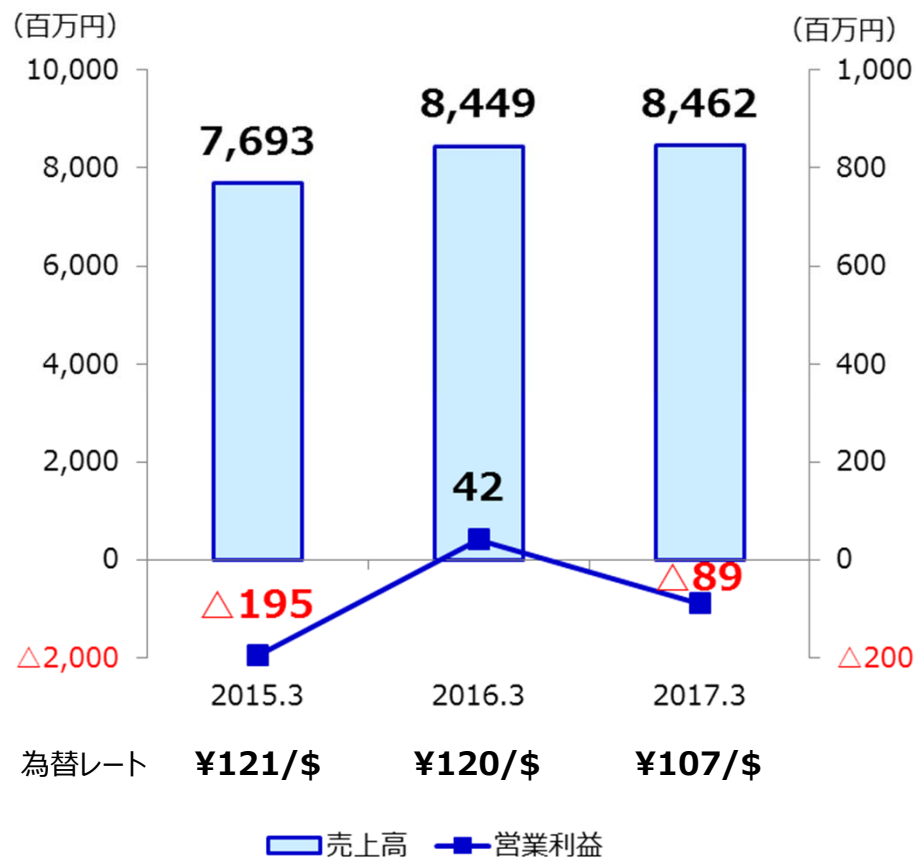
## ■ 分野別概況

- **香料材料分野**  
海外主要顧客を中心に大幅販売増も、  
円高影響により売上高微減
- **溶剤分野**  
電子材料向け需要、リサイクル需要ともに  
堅調に推移
- **ロジスティック分野**  
荷動量は大幅増  
タンク稼働率は、引き続き  
好調に推移



高浜油槽所

## 売上高・営業利益





## 営業外損益～当期純利益

営業外収益は、淡路工場の補助金を135百万円計上し224百万円  
特別損失にて役員退職慰労引当金を255百万円計上

(百万円)	2016.3期	2017.3期	増減額
営業利益	966	527	△439
営業外収益	93	224	+131
補助金収入	0	139	+138
その他	92	85	△7
営業外費用	370	339	△31
支払利息	226	177	△49
為替差損	125	129	+3
その他	18	32	+14
経常利益	688	412	△276
特別損益	△5	△255	△249
法人税等	214	△76	△291
当期純利益	468	233	△234

[補助金収入 +138]  
淡路工場補助金の計上

[支払利息 △49]  
金融諸費用の低減

[特別損失 △249]  
役員退職慰労金

# 貸借対照表

(百万円)	2016.3期末	2017.3期末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>11,111</b>	<b>11,465</b>	<b>+353</b>
現金預金	1,326	1,865	+539
売上債権	3,016	3,183	+166
棚卸資産	6,330	5,889	△441
その他	437	527	+89
<b>固定資産</b>	<b>17,121</b>	<b>16,959</b>	<b>△161</b>
有形固定資産	16,263	16,059	△204
無形固定資産	335	366	+31
投資・その他	522	533	+11
<b>資産合計</b>	<b>28,232</b>	<b>28,425</b>	<b>△66</b>
<b>負債</b>	<b>21,426</b>	<b>21,424</b>	<b>△2</b>
買掛債務	2,100	2,184	△84
有利子負債	15,473	15,008	△465
その他	3,852	4,232	+379
<b>純資産</b>	<b>6,806</b>	<b>7,000</b>	<b>+194</b>
株主資本	6,801	6,955	+153
評価・換算差額等	4	45	+40
<b>負債・純資産合計</b>	<b>28,232</b>	<b>28,425</b>	<b>+192</b>

← [棚卸資産 △441]  
販売量急増により減少

← [有利子負債 △465]  
借入金の返済により減少

[自己資本比率]  
24.6% (前期末比+0.5%)

# キャッシュフロー

	2016.3期	2017.3期	増減額
<b>営業活動によるCF</b>	<b>2,232</b>	<b>2,378</b>	<b>+146</b>
税金等調整前純利益	682	156	△526
減価償却費	1,634	1,628	△6
売掛債権の増減額（+は減少）	23	△166	△189
棚卸資産の増減額（+は減少）	△381	441	+822
仕入債務の増減額（+は増加）	200	84	△115
その他	72	234	+161
<b>投資活動によるCF</b>	<b>△577</b>	<b>△1,179</b>	<b>△601</b>
<b>フリー・キャッシュフロー</b>	<b>1,654</b>	<b>1,199</b>	<b>△455</b>
<b>財務活動によるCF</b>	<b>△1,679</b>	<b>△629</b>	<b>+1,050</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△34	△2
現金及び現金同等物の増減	△56	536	+592
現金及び現金同等物の期末残高	917	1,453	+536

[営業CF +146]  
販売量の増加に伴い、  
売掛債権166百万円増加、  
棚卸資産441百万円減少、  
仕入債務84百万円増加

[投資CF △601]  
感光材にて最先端半導体向け  
製造ライン新設

2018年3月期

---

通期業績見通しについて

## 2018年3月期 通期業績予想

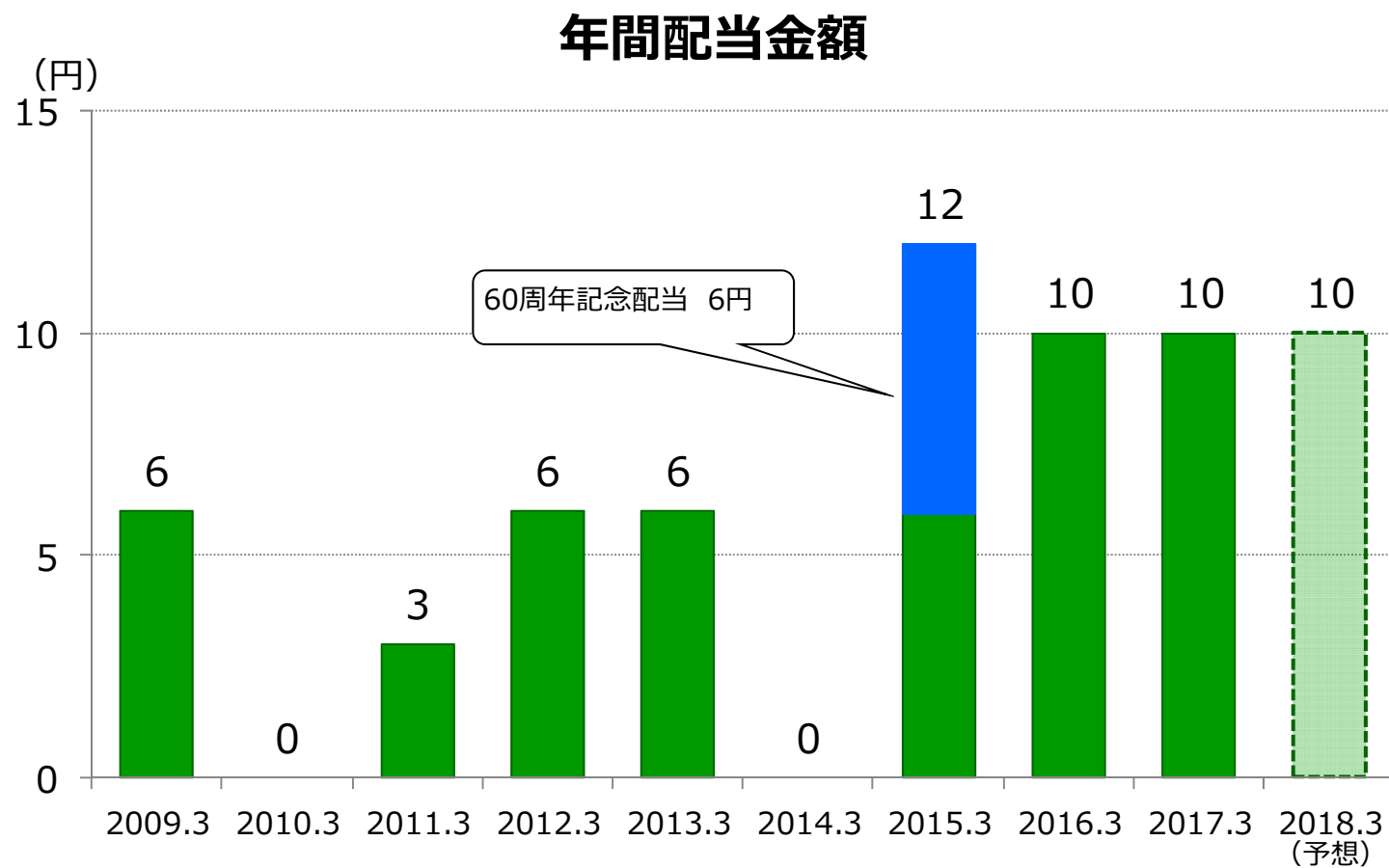
2018年3月期は、販売量の増加による増収増益を見込む  
想定為替レートは ¥110/\$

(百万円)	2017.3期 実績	2018.3期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	18,183	<b>18,800</b>	+617	+3.8%
営業利益	527	<b>750</b>	+223	+42.3%
経常利益	412	<b>600</b>	+188	+45.6%
当期純利益	233	<b>490</b>	+257	+110.3%
為替レート	¥108/\$	<b>¥110/\$</b>	—	—

# 株主還元

安定配当を基本とする

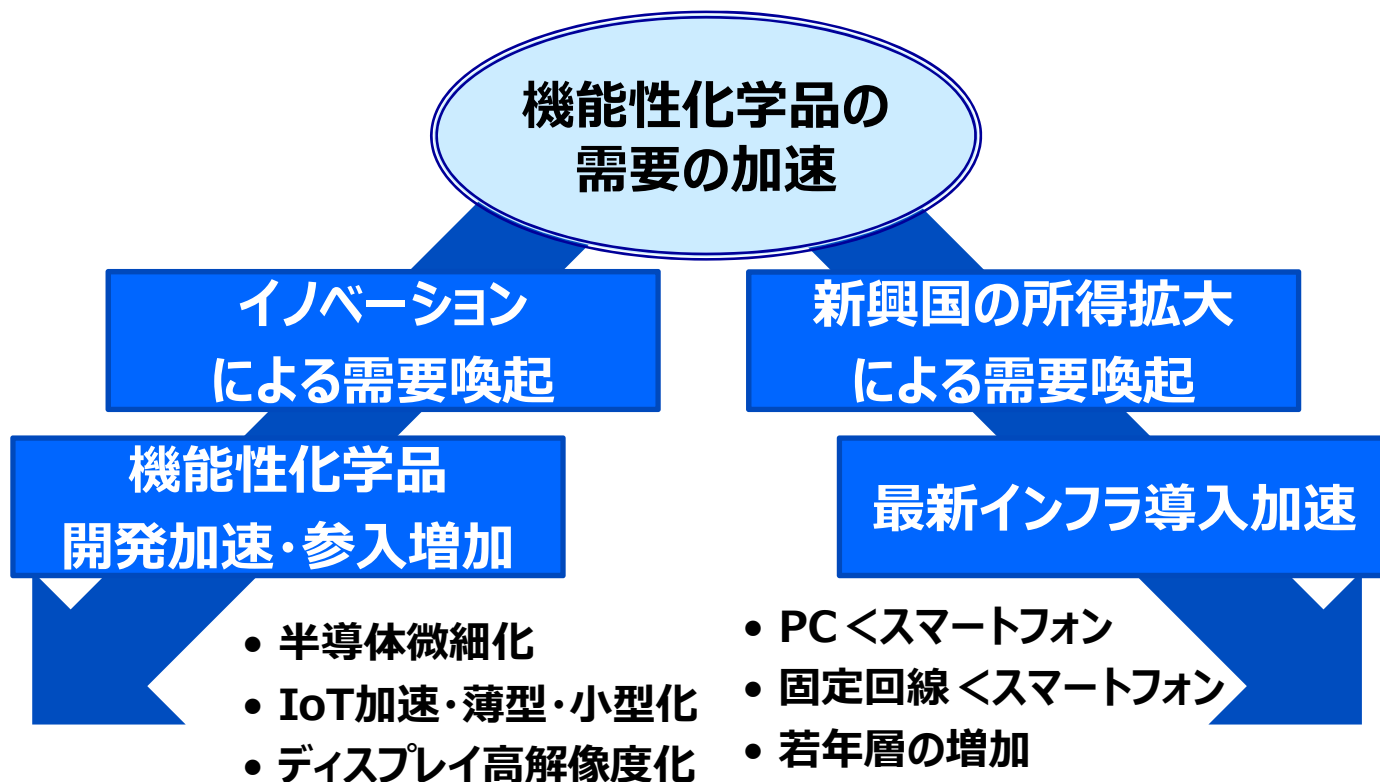
2018.3期も1株あたり年間10円の配当の見通し



# 今後の展望について

---

素材産業では、機能性化学品の加速、新興国による需要ドライブが加速



IoT、ビッグデータ、AIなど高度情報化  
予防・再生医療など医療高度化

大量生産による低価格化と普及



# 市場：感光性材料

半導体の微細加工技術と多層化が進展し、14nmノードまで量産化が進行

現在はArFの技術を改良し、微細化を進めている段階

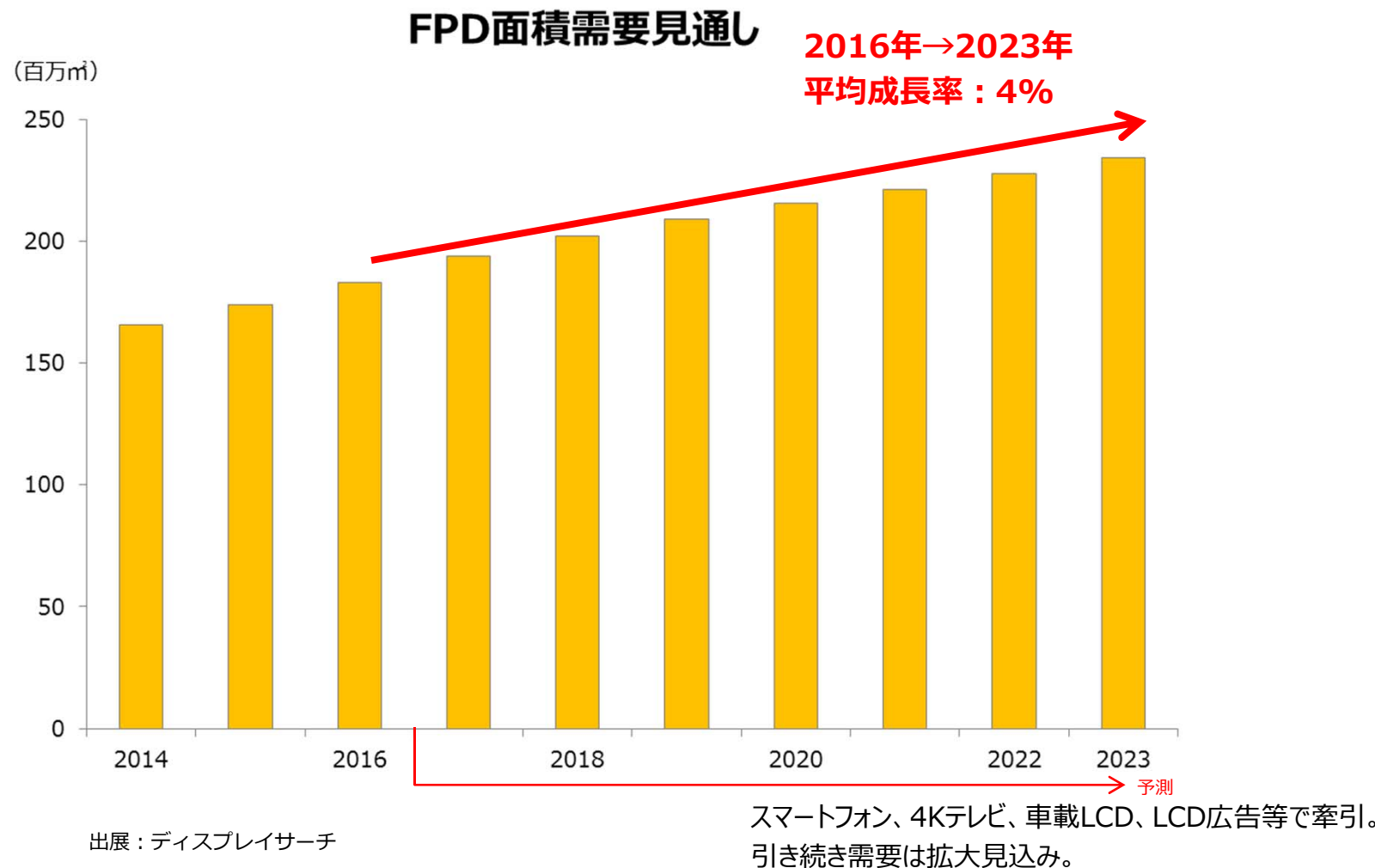
今後も、全世代の感光材の品質向上に対応し、製品ラインナップの更なる拡充を図る

	FPDパネル用		半導体用							
	g + h + i 線	i線	g線	i線	KrF		ArF			EUV
							液浸	ダブル パターニング	マルチプル パターニング	
線幅	~ 2,000nm	~ 1,000nm	~700nm	~200nm	~110nm	~65nm	~45nm	~22nm	~5nm	~3nm
用途	テレビ用、 一般用	先端中小型 パネル	IGBT、LCDドライバ、 LED		DRAM / NAND FLASH メモリ					次世代ロジック LSI
			先端ロジックLSI							
			スマートフォ ン タブレットに よる拡大		緩やかに縮小	拡大	やや拡大	横ばい	量産化 急拡大	
市場	新興国の 需要増									

← 当社製品・研究開発のアプローチ範囲 →

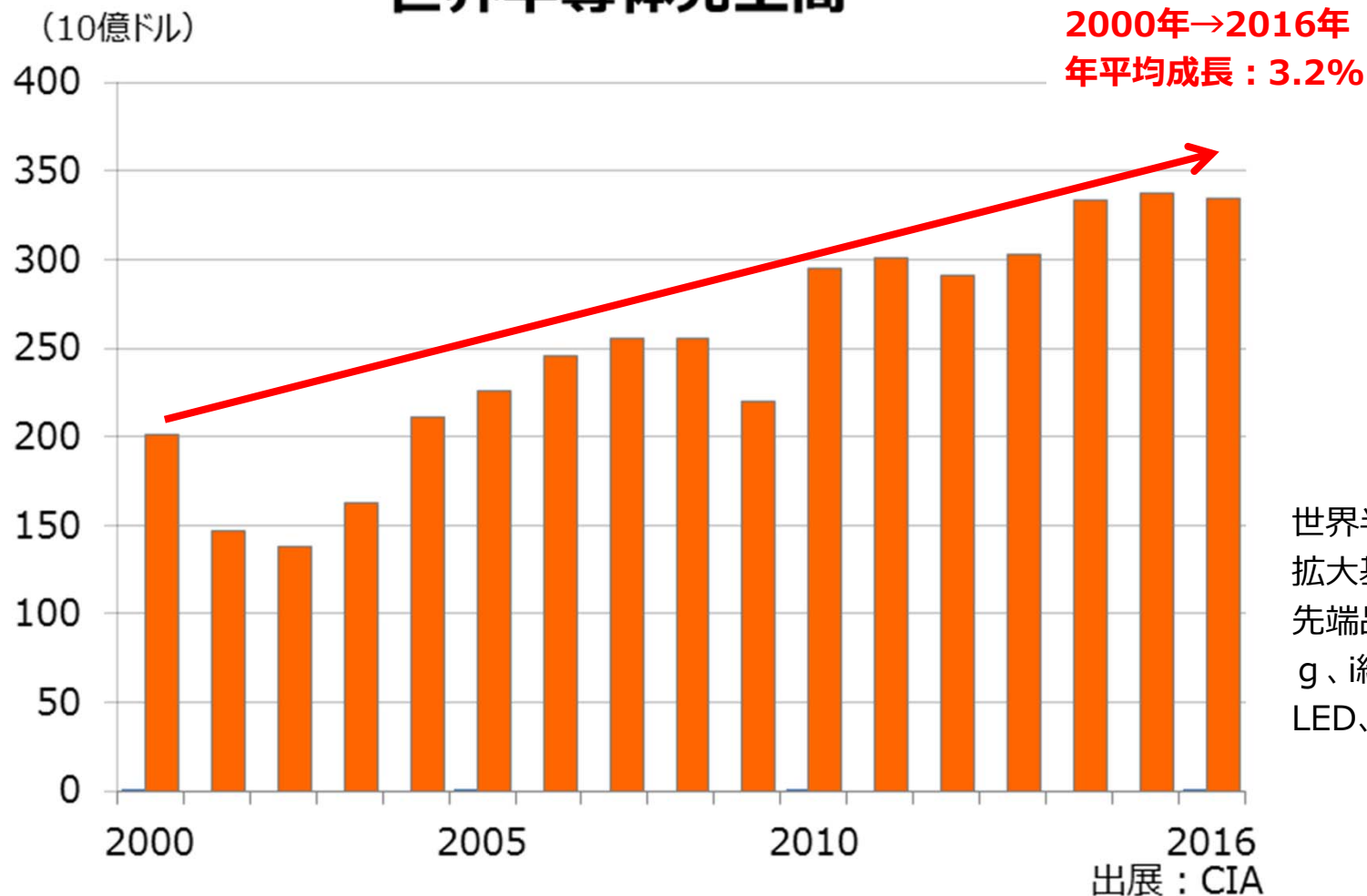
## 市場：感光性材料/溶剤 電子材料関連

FPD向けレジスト需要は、台湾・中国におけるFPD生産拡大により、成長が続く  
画面の高精細化に伴い、ハイグレードの感光材ニーズが顕著化



先端半導体レジスト需要は、ArF世代の延長に伴い拡大  
先端品の開発需要も旺盛

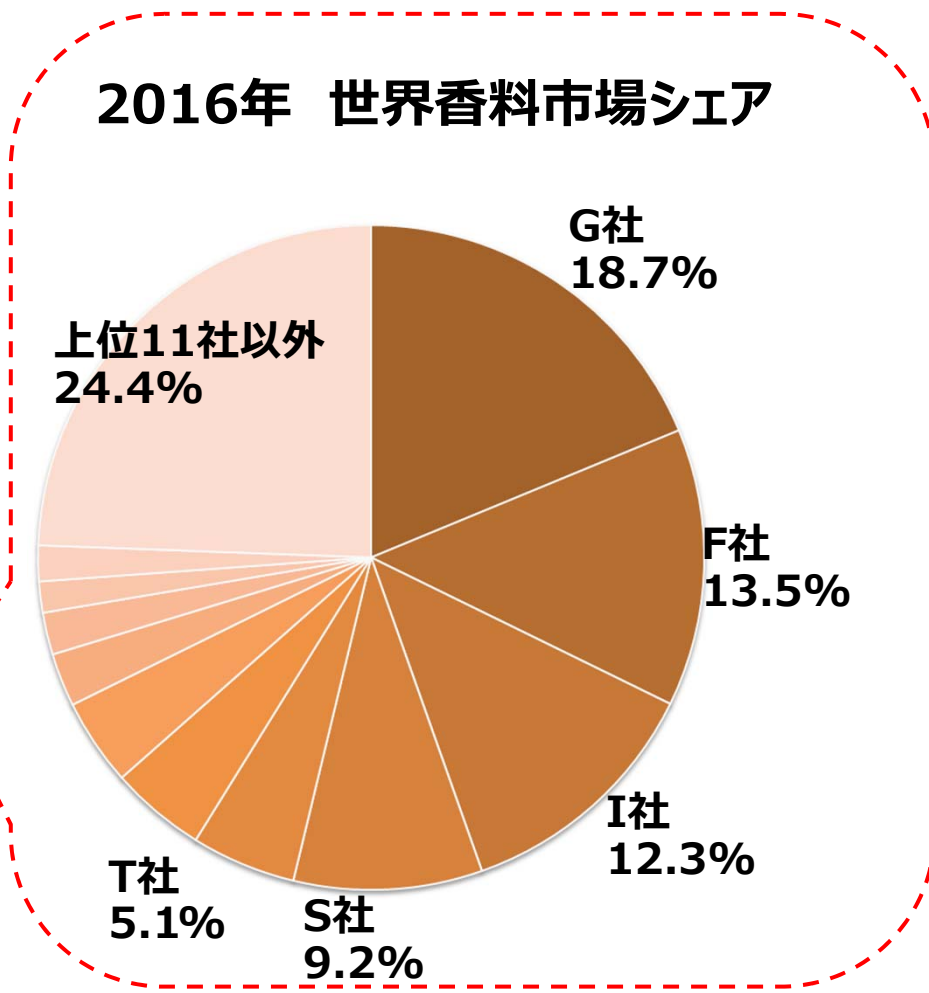
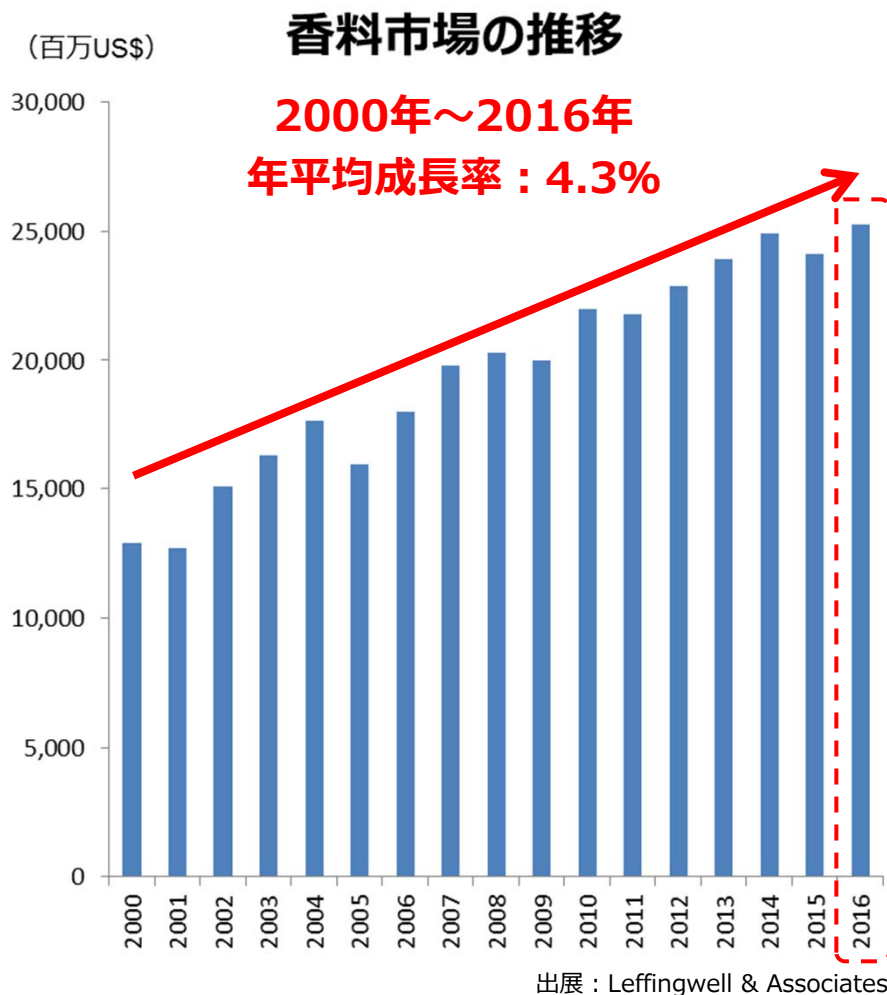
### 世界半導体売上高



世界半導体売上高は、  
拡大基調は継続。  
先端品：メモリ、スマホ好調  
g、i線：IoT、車載半導体、  
LED、パワーデバイス

# 市場：化成品 香料材料分野

香料市場の年平均成長率は4.3%、今後も同水準の成長が続く見通し  
世界香料市場は上位5社でシェア62%



# 市場：化成品 ロジスティック分野

サービスレベルと顧客満足さらなる向上により、需要確保

**外環道開通**（平成29年度予定）による関東一円へのアクセスが向上、一段の利便性UPをお客様へ訴求  
お客様、運送会社を含めた安全啓蒙活動などを積極的に推進し、当社油槽所の特徴を共有

## 高い参入障壁と好立地条件

- 東京湾岸での新規参入は、消防法規制による高いハードルがあり、困難
- 東京湾岸に立地、高速出入口にも近接しており好立地と抜群の交通アクセス
- 外環道の開通により利便性がさらに向上

## サービスの差別化

- 多様な受入形態・保管施設を有し、充実した受払サービスを提供
- ファインケミカル事業で培ったノウハウを活かし、品質管理に強み

## 外環道開通により回転率が一層向上



# TOPIC① 「Fine Chemical Japan2017」に出展

## ジャパンライフサイエンスウィークの4月19日～21日、 東京ビックサイト「Fine Chemical Japan2017」に出展

化成品セグメント溶剤分野の医薬原薬・中間体製造向け溶媒、  
バイオ分野の三次元細胞培養システム「Cell-able®」、  
新製品予定樹脂硬化剤 & 硬化促進剤「TG°C-ure™」の展示とプレゼンテーションを実施。

4月21日付の化学工業日報にて「TG°C-ure™」の記事が掲載された。



当社の展示ブース



「TG-Ams™シリーズ」  
展示内容

「TG°C-ure™」の  
展示内容

「Cell-able®」の展示内容

## TOPIC② 樹脂硬化剤・硬化促進剤

### 構造接着用途向けに樹脂硬化剤・硬化促進剤「TG°C-ure™」を新規開発

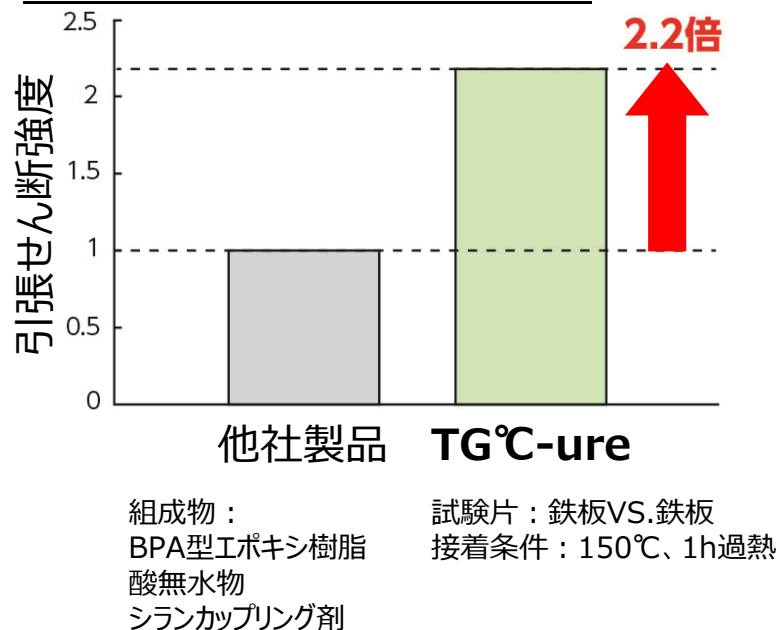
既存の他社製品比で、接着強度を2倍以上に高めることが可能。

過熱により硬化を開始し、硬化後は透明で高い接着力を有する硬化膜を形成できる。

現在、半導体チップや自動車、航空機分野を中心に用途開発進行中。

本格販売時期は未定。

#### 使用例：鉄板を試験片としたエポキシ樹脂 硬化膜の接着力の他社比較



＜開発品(紛体)外観＞



＜樹脂に混練した様子＞



紛体形状を基本とし、平均粒径を数マイクロメートル以下にすることが可能。液体での供給も可能

## TOPIC③ 医薬原薬・中間体製造向け高純度溶媒

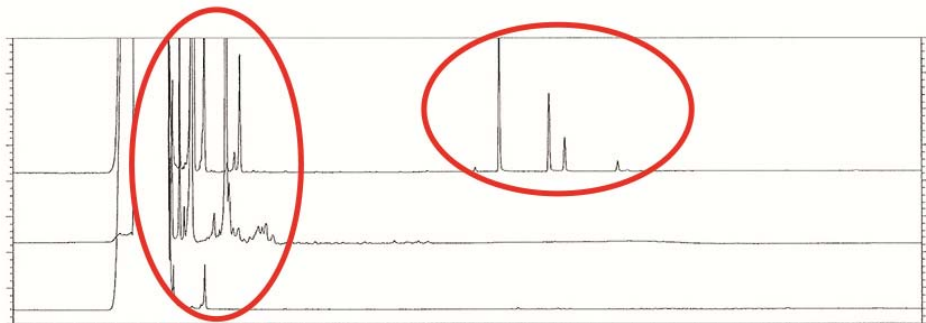
### 電子材料業界で培った金属・不純物の高純度管理技術を、 医薬原薬・中間体製造用途に展開

厚生労働省が定める残留溶媒ガイドライン、医薬品の元素不純物ガイドラインにおける対象物質・元素を低減し高純度化し、品質を保証。

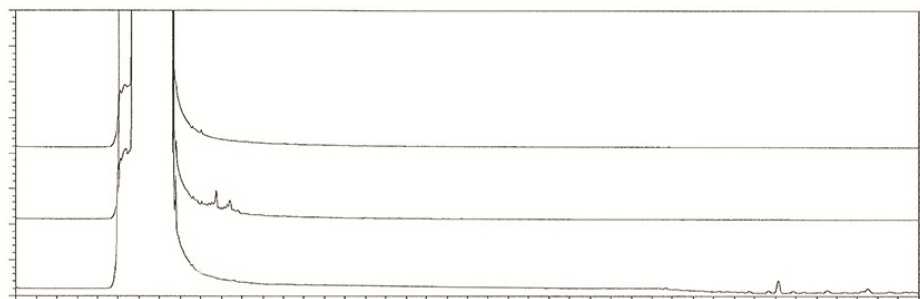
「TG-Ams™シリーズ」として、製薬業界を中心に展開開始。

### 一般工業品とTG-Ams™における含有不純物の比較

〈一般工業品〉



〈TG-Ams™〉



クリーン環境の充填設備で  
高純度で管理



業界屈指の高い品質管理・分析技術



独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

# 東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。